

## Ⅱ. 1. 刊行物等

### ○紀要『言語文化研究』

『言語文化研究』第44号(2018) 目次

#### 【学術論文】

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| 井元 秀剛                    | フランス語間接話法における時制   |
| 上原 順一                    | ロシア語の語彙連想とグラフの連結成分について  |
| 小森 淳子                    | ニジェール・コンゴ語族における動詞派生形と「受動文」  |
| 霜鳥 慶邦                    | 21世紀の <i>In Memoriam</i> — Sebastian Faulks, <i>Where My Heart Used to Beat</i> における記憶の美学   |
| 瀧田 恵巳                    | 二つの <i>Origo</i> と視点  |
| 中村 未樹                    | エリザベス朝演劇におけるパッションと感情のコミュニケーションの形成   |
| 秦 かおり                    | EU 離脱騒動後にみるアイデンティティの再構築：<br>在英邦人女性が語る移民としての自己   |
| ファン・ティ・ミー・ロアン            | 味覚語彙とその感覚表現への転用に見るベトナム語と日本語の違い  |
| 林 初梅                     | 国民党政府による日本的要素の容認と排除<br>—戦後初期台湾における学校接收過程の一考察—   |
| 夏 嵐                      | 陈绵的意义   |
| AKITI DEZEM, Rogério     | A impermanência no olhar do fotógrafo-imigrante Haruo Ohara   |
| ANDRÉ, Richard Gonçalves | (1909—1999)   |
| GOVOROUNOVA, Alena       | Celebrating the Triumph of Nature in a Japanese Ecofantasy World: On the Buddhist and Shinto Motives in the Animation of Miyazaki Hayao |
| KOGUCHI, Ichiro          | Contact with Materiality: Wordsworth's Alps and Thoreau's Ktaadn  |
| ДЫБОВСКИЙ, А.С.          | Японоведение в Практической восточной академии при Императорском обществе востоковедения (1910—1917)                                    |

#### 【研究ノート】

- |       |                    |
|-------|--------------------|
| 岡本 真理 | 1848年革命期ハンガリーの政治喜劇 |
|-------|--------------------|

郡 史郎

間投助詞のイントネーションと間投助詞的イントネーション — 使用例の検討と、尻上がりイントネーション, 半疑問イントネーションの考察 —

## ○言語文化共同研究プロジェクト 2017 目次

### 『新しい英語教育のアプローチ』

・ HINO, Nobuyuki

World Englishes education: Toward multicultural symbiosis

・ 西田 理恵子 大学英語学習者における内容と言語の融合  
— CBI, CLIL, EMI の可能性を探って —

・ YU, Simon Changing perspectives towards English through EIL use in Japan:  
Surveying language attitudes in Japanese international churches

・ 中野 三紀 薬学部における ESP (English for Specific Purposes) 教育とその効果の検証

### 『自然言語への理論的アプローチ』

・ 井原 綾 Exhaustivity in Imperatives: A Case Study of Imperatives with DAKE ‘Only’

・ 榎原 実香 「も」の周縁的用法の累加性について

・ 越智 正男 Remarks on Labels, Agreement, and Pro-form no in Japanese

・ 田儀 勇樹 日本語の主格主語と対格主語の照応形束縛現象に関する研究

・ 辰己 雄太 How many answers to a how many question are possible?

・ 中西 亮太 The Prenominal Numeral-classifier Sequence in Japanese

・ 野口 雄矢 A Revisit of Direct Quotation Clauses in Japanese

・ 三藤 博 方法論的自然主義と意味論

・ 宮本 陽一 On an Alternative to Maki et al’ s (2015) Account on Mongolian NOM-GEN  
Alternation and its Implication for the Structure of Mongolian Relative Clauses

・ 山本 恵子 移動様態動詞や音放出動詞と共起する away の意味解釈について  
— クオリア構造による分析 —

・ 由本 陽子 日本語の複合動詞研究の回顧と再考

### 『ポストコロニアル・フォーメーションズ X III』

・ 木村 茂雄 はじめに

・ Md. Mamunur Rahman

Colonial Birth, Nationalist Growth: Influence of the Colonial Rule and  
Education System on the Novels of India and Bangladesh

- Yuzo Yamada The Unreliable Representation of the Subaltern: The Case Study of Tokunaga Sunao's Reportage
- 伊勢 芳夫 文学作品を読むのは誰か? ——読者論と “intertextuality” ——
- 久保 和真 ロジャー・フライと視覚芸術の「重さ」  
——世紀転換期西欧の「触覚」をめぐる言説——
- 舞 さつき 動物たちの “Unconscious Bias”  
——ディズニー映画『ズートピア』から——
- 安保 夏絵 創造的(クリエイティブ)サバイバル  
——Margaret Atwood の Oryx and Crake を中心に——
- 桑原 拓也 “Nowhere” に向かって  
——Joseph O' Neill の Netherland におけるポスト 9/11 の移民——
- 小杉 世 人新世のエコクリティシズム  
——Wu Ming-Yi、Alexis Wright、Amitav Ghosh を中心に——

『テキストマイニングとデジタル・ヒューマニティーズ 2017』

- 田畑 智司 プロジェクトの目的と活動
- Сугияма, Мао Стратегические выражения журналистов о ежегодном послании президентов России Федеральному Собранию : Сравнение с заголовками в печатных газетах  
(Mao Sugiyama Strategic Expressions of Journalists about the Annual Message of the Russian Presidents to the Federal Assembly:  
In comparison with the Headlines in Printed Newspapers)
- 土村 成美 イギリスにおけるミステリー黄金時代の女性作家作品の比較分析  
Christie, Sayers と Allingham
- Mao Sugiyama How did the Russian Press Report Russia's First President:  
Comparing the Key Words between Yeltsin's addresses and the Press
- Tomoji Tabata Mapping Dickens's Style in the Network of Words, Topics, and Texts
- 田畑 智司 Digital Humanities: デジタルで拡張する言語文化科学研究

『相互行為研究④—談話とイデオロギー』

- 佐藤 彰 メディアにおいて原発事故の現場作業員はどう扱われたか
- 秦 かおり Brexit 騒動後の日本人移民のナラティブ分析

- 「夫の親戚」との関係変化を物語る—
- ・榎本 剛士 言語イデオロギーとしての「英語教育」  
—中学校英語授業からの覚え書き—
- ・岡本 能里子 震災報道を通して伝えられる日本  
—メディアが構築する「冷静」で「秩序を守る」日本人—
- ・泉谷 律子 小学校英語と早期教育についての言説と素朴信念  
—ポッドキャスト番組の談話から—
- ・木場 安莉沙 メディアにおける性的少数者のセクシュアリティ  
—その表象と性的イデオロギー—

『表象と文化 XV』

・ Alexander Dybovsky

David Garrett's "Revolutions" : A Sociocultural Interpretation

- ・ 林 千宏 鏡とエンブレム—— セーヴ、ロンサール、ベローにおける鏡のモチーフ
- ・ 川村 明日香 ディズニー版『白雪姫』のりんごをめぐる物語の変容  
——「毒」から「かわいい」への変遷
- ・ 金 兌娟 訪問客と共に作るイベント・コンベンション  
——ドイツの Connichi を通して
- ・ 北村 卓 谷崎潤一郎のボードレール受容に関する一考察  
—— 谷崎訳 « Le Fou et la Vénus » をめぐって
- ・ 西田 容子 ミハイル・チェーホフ・メソッド形成過程についての一考察  
—— “イマジナリー・ボディ”

・ Benjamin Salagnon

Réception et traduction de la littérature japonaise en France :

la place singulière de Murakami Haruki

- ・ 占部 歩 読解ゲームとしての小説  
—— 不条理な会話という遊び

・ Takayuki Yokota-Murakami

From “Tiryagyoni“ through “Animal” to “Ferus”

—— A Critique of Western Religious Thinking with L. Tolstoy, V. Rozanov,  
and F. Kafka.

『言語文化の比較と交流 5』

- ・ 聶 晶 『夜窓鬼談』における動物物語に関する研究  
—「藤生救雀」を中心に—
- ・ 中 直一 出島三学者の日本人論  
—日本人の国民性をめぐって—
- ・ 中村綾乃 (解説・訳)  
ハインツ・アルトシュール口述回想『記憶を刻みながら』に寄せて  
—赤印字が刻まれたパスポートと神戸のドイツ人コミュニティー—
- ・ 平山 晃司 初期アテナイにおける殺人裁判と刑罰
- ・ 佐古 敏子 齋藤文法における *passive voice* の位置づけと定訳「受動態」について

『応用会話分析研究 —制度的会話での質問—応答連鎖』

- ・ 古川 敏明 “konichiwa and arigatogozaimas for your testimony” :  
米公聴会における日本語使用と他者化
- ・ 岡田 悠佑 ラベルの妥当性と物語の適切化:  
第2言語採用面接における物語連鎖
- ・ 渡邊 綾 日本在住外国人の医療体験に関するインタビュー:  
言語・非言語資源を用いた共感的反応の協働構築
- ・ 石野 未架 退職を選んだ外国人指導助手 (ALT) が語るティームティーチングの課題  
—アクティブ・インタビューを用いて—

『ドイツ啓蒙主義研究15』

- ・ 廣川 智貴 汎愛派の知られざる教育者 J・K・ヴェツェル
- ・ 吉田 耕太郎 嬰兒殺しをめぐる言説の再検討 I 論争の背景
- ・ 福田 覚 レッティング『ミス・サラ・ Sampson』における父の規範と娘の葛藤  
— 両価的感情の物語表現として見た悲劇の構図 —

『時空と認知の言語学VII』

- ・ 井元 秀剛 アスペクト研究覚え書き
- ・ 沖田 知子 メタ語用論からの一考察
- ・ 瀧田 恵巳 『デュランデ城』における風景描写のダイクシス (その1)
- ・ Yuki-Shige TAMURA  
Nominalization in Central Alaskan Yup'ik
- ・ 春木 仁孝 嗅覚をあらわす *sentir* の構文と意味

『認知・機能言語学研究Ⅲ』

- ・小薬 哲也 「自分」の付加詞用法に関する一考察 —「自分から」を例に—
- ・瀬戸 義隆 "命令条件構文の通時的変化と制約の関連性  
—多義性の解消という観点から—"
- ・ Hiromasa ITAGAKI

Categorical Interactions in an INTR-V + ADJECTIVE Construction Network

『レトリック、メタファー、ディスコース』

- ・渡辺 秀樹 Wilfred Owen の「笑い」の類語とメタファー—The Last Laugh は誰の笑いか
- ・大森 文子 喜びと悲しみのメタファー—Shakespeare の Sonnets をめぐって
- ・後藤 秀貴 日英語の頭部の理解をめぐって  
—理性・知性の座としての「頭」と head—
- ・友繁 有輝 ケネディ大統領のアメリカン大学での演説における語彙分析  
—ケネディの「平和」の捉え方とは—
- ・ Miles Neale 日欧経済学者の概念メタファー使用の比較
- ・笹川 恵美子 コラム文体論—Intertextuality と Dialogism の様相
- ・福本 広光 アメリカ英語での分離不定詞の使用実態調査と考察  
～使用された *splitter* を中心に～
- ・相場 美紀子 中国における宣伝画の変容 ～1950 年代を中心に～
- ・ Luke Malik Metaphorical Utterances and Category Mistakes
- ・ Gerry Yokota Archetypal Literacy for Intercultural Communication:  
From Noh to Anime and Beyond
- ・ Chou You The Metaphorical Use of Flowers in The Age of Innocence

『「文化」の解説 (18) —神話的なものとその解体』

- ・ Oliver AUMANN  
Ein Buch im Buch? Die „Inneren Kapitel“ des Zhuangzi
- ・津田 保夫 十八世紀ドイツの人間学的転回とハレ大学の学問状況
- ・李 潤沢 『新しき土』と『支那の夜』にみるオリエンタリズムと日本的オリエンタリズム—原節子と李香蘭の女性像の比較
- ・山本 佳樹 東ドイツにおける文学作品の映画化—『ヴァイマルのロッセ』を例に
- ・阿部 津々子 オポレ市政 800 周年記念祭と「失われた」ポーランド語とドイツ語によ

## る二言語地名標識

### 『外国語教育の新しい局面 (8)』

- ・夏 嵐 中国語劇を演じるに当たって
- ・力武 京子 外国語学習の ICT 活用とアクティブラーニングの実現に向けて
- ・王 健 観光業インターンシップにおける「沈黙 J」の回避  
—観光日本語専攻の学生と観光会社の教育担当者への質的調査から—
- ・吳 雨倩 日本語教育における新たな新聞活用について  
(ゴ・ウセイ) —新聞記事の批判的談話分析の実践を通して—

### 『音声言語の研究 12』

- ・甲斐 朋子 「はい」の機能と発音パターンとの関係について  
—合成音声による聴取実験結果の分析—
- ・郡 史郎 終助詞類のアクセントとイントネーション  
—「よ」「か」「の」「な」「でしょ(う)」「じゃない」、とびはね音調の「ない」—
- ・陳 曦 明解系アクセント辞典における 4 つの漢字で表記される語のアクセント
- ・野澤 健 日本語とアメリカ英語の母語話者による相互の言語の母音の L1 母音カテゴリーにおける分類
- ・服部 拓哉 A Listening Test Experiment on English Intonation and the State of Use of Non-Falling Tones by Native Japanese Speakers
- ・韓 喜善 日本語の撥音の音声としての自然さに関する調査
- ・村田 真実 徳島市における 3 拍動詞アクセントの変化について  
—1 段活用動詞と 5 段活用動詞の変化の速度差の要因—
- ・安田 麗 語末閉鎖子音の知覚  
—ドイツ語母語話者を対象にした聴取実験の報告—

### 『批判的社会言語学のメッセージ』

- ・山下 仁 「協調の原理」再考 — 批判的社会言語学の観点からの考察 —
- ・吳 素汝 台湾における言語使用の実態  
— 嘉義県公立 D 小学校「郷土言語」履修者を事例に —
- ・植田 晃次 中国朝鮮語の規範化方針の転換の軌跡とその可能性  
— 『朝鮮語規範集』(2016 年)での修正を手掛かりに —

○言語文化共同研究プロジェクト 2018 一覧

<言語文化専攻>

整理 番号	共同プロジェクト名	研究代表者	研究分担者(人数内訳)		
		氏 名	氏 名	教員	院生等
1	表象と文化XVI	北村 卓	(教員)A. ディボフスキー、Ch. ガラベ、 林 千宏、B.サラニョン、 ヨコタ村上 孝之、 仙葉 豊(名誉教授) (院生)川村 明日香、金 允娟、占部 歩、 西田 容子(単位取得退学者)、ヴィノ グラードワ ダリア(単位取得退学者)	7	5
2	自然言語への理論的ア プローチ	越智 正男	(教員)三藤 博、宮本 陽一、 由本 陽子 (院生)田儀 勇樹、山本 恵子、中西 亮太 榎原 実香、井原 駿、野口 雄矢、 JU MINJI(張 雨辰)	4	7
3	「文化」の解説(19)一文 化とメディア	山本 佳樹	(教員)我田 広之、津田 保夫、 宮崎 麻子、Aumann, Oliver (院生)李 潤澤、徐 玉、董 楨清、 阿部 津々子(課程博士論文申請資 格者)	5	4
4	Cultura Formation Studies I	小杉 世	(教員)伊勢 芳夫、木原 善彦、 木村 茂雄、森 祐司、 山田 雄三(文学研究科)、 マムヌール・ラハマン(イスラム大(バン グラデシュ)) (院生)久保 和真、安保 夏絵、小倉 永慈、桑原 拓也、舞 さつき	7	5
5	テキストマイニングとデジ タル・ヒューマニティーズ 2018	田畑 智司	(教員)岩根 久、三宅 真紀、今尾 康裕、 ホドシチェク・ボル、上阪 彩香 (データビリティフロンティア機構)、 後藤 一章(摂南大)、 高橋 新(非常勤講師) (院生)黒田 絢香、土村 成美、杉山 真 央、浅野 元子、廣瀬 由奈	8	5
6	新しい視点からの英語教 育	日野 信行	(教員)西田 理恵子、 小田 節子(金城学院大) (院生)服部 拓哉	3	1
7	時空と認知の言語学VIII	渡邊 伸治	(教員)井元 秀剛、王 周明、田村 幸誠、 瀧田 恵巳、春木 仁孝(名誉教授) (院生)ー	6	0
8	応用会話分析研究一制 度的会話におけるカテゴ リー化と連鎖構造	岡田 悠佑	(教員)古川 敏明(大妻女子大) 渡邊 綾(福井大) (院生)中野 三紀、勝部 三奈子、 久次 優子	3	3
9	ドイツ啓蒙主義研究16	福田 覚	(教員)吉田 耕太郎(文学研究科)、 廣川 智貴(大谷大)、 長谷川 健一(大阪市立大) (院生)ー	4	0
10	言語文化の比較と交流 6	平山 晃司	(教員)中 直一、中村 綾乃、三浦 あゆみ (院生)ー	4	0
11	認知・機能言語学研究IV	小栗 哲哉	(教員)早瀬 尚子、Ashlyn Moehle (言社)、大神 雄一郎、 中尾 朋子(非常勤講師) (院生)瀬戸 義隆、板垣 浩正、三野 貴志	5	3

12	音声言語の研究	郡 史郎	(教員)山本 武史、安田 麗(言社)、 儀利古 幹雄(日日)、村田 真実 (日日兼任)、上田 功(名誉教授)、 韓喜善(ハン・ヒソン)(非常勤講師) (院生)野澤 健、陳 曦、田中 瑤子、 甲斐 朋子 (課程博士論文申請資格者)	7	4
13	批判的社会言語学の思潮	小川 敦	(教員)山下 仁、植田 晃次 (院生)呉素汝(課程博士論文申請資格者)	3	1
14	レトリックとコミュニケーション	大森 文子	(教員)渡辺 秀樹、ジェリー・ヨコタ、 アンドリュー村上スミス ルーク・マリク (院生)後藤 秀樹、友繁 有輝 寺浦 麻由、福本 広光、岡部 未希	5	5
15	相互行為研究⑤—談話とボリティックス—	秦 かおり	(教員)佐藤 彰、榎本 剛士、 岡本 能里子(東京国際大) (院生)木場 安莉沙、竹村 博恵、 オコナー ノミン	4	3

<言語社会専攻/日本語・日本文化専攻>

整理番号	共同プロジェクト名	研究代表者氏名	研究分担者(人数内訳)		
			氏名	教員	院生等
1	アジア太平洋地域の平和と安定: ソフトパワーとハードパワーの融合	杉田 米行	(院生)Simona Lukminaite Anastasija Ozerova 橋本 凜	—	3
2	外国語教育におけるCEFR-CV の応用のための基礎研究—日本語教育を中心に—	真嶋 潤子	(教員)李 偉 (院生)アブデルラフマーン・エルハディディ	1	1
3	大西洋を挟む演劇の地政学—イギリス、スペイン、アメリカ	貴志 雅之	(教員)岡本 淳子 中村 未樹 古谷 大輔 (院生)山本 玲奈 近藤 佑樹	3	2
4	中国古辞書「篇韻」データベース の構築と活用	鈴木 慎吾	(教員)古川 裕 今泉 秀人 (院生)高田 友紀 中村 剛福 黄 勇 李 日臻	2	4
5	東南アジア・南アジア地域間交 渉にみるイスラーム拡散と受容の 歴史研究	菅原 由美	(教員)池田 一人 村上 忠良 山根 聡 (院生)菊池 泰平	3	1

○言語社会専攻/日本語・日本文化専攻研究成果刊行助成

『日本語・日本文化研究 第27号』

- ・中田 一志 終助詞「よね」の機能—直接形を中心に—
- ・中田 一志 否定疑問文における二つの論理関係
- ・永原 順子 教養としての国語～高知高専における取り組みを例に～
- ・真嶋 潤子 日本で子育てをする国際結婚家庭における親の教育姿勢とその影響
- トウトウヌエエー —ミャンマー人母親二人の事例比較—

- ・ 山泉 実 意味拡張における説明概念としてのシネクドキの役割とメタファーとの関係
- ・ 彭 雨新 日本占領期の周作人に関する新史料発見： 1942-45年の『東亜新報』を中心に
- ・ ベレジコワ  
タチアナ 明治後期における国民形成としての玩具戦略  
—三越第1回児童博覧会を通して—
- ・ ヴォイニコヴァ  
マリヤナ 日本語学習者による複合動詞の使用についての実証研究  
—母語話者・学習者コーパスによる調査をもとに—
- ・ 伊澤 明香 ブラジルの日系人の子どもたちの日本語の読解力に関する一考察
- ・ トウトウヌエエー 日本語とビルマ語における格助詞の機能及び体系に関する対照研究  
—格助詞の交替現象を中心に—
- ・ 馬 氷 二尊院蔵十王図中「太山王図」再考
- ・ 千々岩 宏晃 「忘れた」ということの相互行為分析  
—活動達成に必要なかつ十分な情報提供—
- ・ 米澤 千昌 CLD 児の主体性を育む教員・指導員の働きかけに関する一考察  
—働きかけの役割と連携による支援の影響に着目して—
- ・ プロコピエヴァ  
マリア 日本語とロシア語における不満表明ストラテジー  
—親疎・上下・役割関係を中心にして—
- ・ ラヒムバエヴァ  
ナジム 初級日本語学習者における終助詞「ね」の習得  
—カザフスタンの学習者を対象に—
- ・ プーンウォンプラ  
サート タニット 手伝うことについての重い依頼に対する「断り」の日タイ対照研究  
—親疎関係による分析—
- ・ 金谷 由美子 「やっぱり」についての一考察 —「一致説」への反論—
- ・ エルハディディ  
アブデルラフマーン アラビア語を母語とする日本語学習者の自動詞・他動詞の選択について
- ・ 植田 志穂 テオクの性質と日本語教育における提出法
- ・ 太田 いずみ 皮肉らしさに関わる要素についての一考察  
—皮肉表現以外の要素に着目して—
- ・ 吉川 夏渚子 ビジネス接触場面における社会文化管理プロセス  
—海外現地日系企業における日本人ホストの評価と調整行動の傾向—

『スワヒリ&アフリカ研究 第29号 2018』

- ・橋本 栄莉 複数の像を生きる若者たち  
— アフリカの「若者」研究の動向と新たな研究の視座
- ・岡野 英之 「若者」言説が作り上げた新興エリート  
— 紛争後シエラレオネにおけるバイクタクシー業界団体の考察から
- ・近藤 有希子 農地から軍隊へ  
— 現代ルワンダ農村社会を生きる彼女たちの未来と選択
- ・川口 博子 紛争経験とともに生きる元反政府軍兵士  
— ウガンダ北部紛争における誘拐と従軍について
- ・村橋 勲 教育を求めて難民になる「若者」  
— 「故郷」と「難民」を揺れ動くロピット難民の「若者」たち
- ・沓掛 沙弥香 タンザニアの教育言語政策  
— 「グローバル化」と多言語主義の狭間で
- ・井戸根 綾子 ラムの女性が語るライフヒストリー (2) - 4
- ・古本 真 スワヒリ語マクンドゥチ方言の民話資料一編
- ・Jean R. E. Bagamboula An Alternative Approach on Ethnic Conflicts Resolution in Africa
- ・Takemura Keiko Nini ndiyo 'Lugha'? : Kuzingatia Tofauti baina ya 'Lahaja' na 'Kiswahili Sanifu' Visiwani Zanzibar

『Estudios Hispánicos 第42号』

- ・Margarita NAKAGAWA Empleo de la perífrasis <estar que + verbo> en la lengua culta de Lima
- ・岡本 淳子 アントニオ・ブエロ・バリエホの検閲関係文書(3)
- ・松本 健二 乱反射する苦痛と希望  
—ラウル・スリータ『楽園前』に関する考察—

『大阪大学 英米研究 第42号 Journal of Anglo-American Studies 2018』

- ・上田 功 少しだけ来し方を振り返ってみる  
—退職のご挨拶にかえて—  
上田功教授略歴および研究業績一覧
- ・早瀬 尚子 上田 功先生のご退職によせて
- ・Adrian Paterson “Sensei. How do I say this?”

A case for required pronunciation courses for English teacher trainees in Japan

- Tokiko Okuma Acquisition of two domains of knowledge of demonstratives by L1 English speakers of L2 Japanese
- 加藤 正治 Witkoś (2004)において提案されている **there** 構文の分析について
- 岡田 新 自由党の分裂と労働党  
—1918年総選挙二人区の戦況—
- 貴志 雅之 ユージーン・オニール、憐憫のリリシズム  
—『夜への長い旅路』を巡って—
- 大津 智彦 初期近代英語における離接詞 *likely* について  
—強意副詞による修飾の有無の変遷—
- 中村 未樹 バーナビー・リッチ『アポロニアスとシラ』翻訳
- 金子 理紗 特殊モーラの挿入による形容詞の強調について
- 植村 真未 蒐集のアレゴリー  
—ポール・オースター作品における語りの進行と破綻—

『言語社会共同研究プロジェクト 2017 ドイツ語をめぐる言語社会研究5』

- 黒谷 茂宏 「付加語」の概念の再構成 (2) 「名詞なし名詞句」と性の二重性
- 小川 敦 多言語国家スイスと言語教育政策パスパルトゥールクセンブルクとの比較において
- 中川 裕之 イゾ・カマルティン「自分のもの、他者のもの」
- 黒谷 茂宏 52. Linguistisches Kolloquium in Erlangen

『ブラジル研究 第14号』

- Rogério Akiti Dezem A Questão Chinesa (1879) no Brasil
- 東 明彦 ヘンリー・コスター『ブラジル旅行記』(1816年)について (4)  
—奴隷貿易の愚かさ—
- 鳥居 玲奈 現代ブラジルポルトガル語における主語の明示に関する一考察
- 坂東 照啓 ポルトガル語の品詞分類の諸問題
- 平田 恵津子 「行列」ムリロ・ルビアン

『EX ORIENTE Vol.25 2018』

名詞の意味と文法—言語理論研究の最前線

- ・鳥居 玲奈           ブラジルポルトガル語における名詞句内の数の一致
- ・三原 育子           日本語における「名詞」再考  
                          —統語的観点から—
- ・山泉 実             日本語の層状節構造(LSC)再考  
                          —NP へと左方転位を中心に—

論文

- ・伊澤 亮介           ベトナムの民間における「西遊記」受容  
                          —水上人形劇の台本と『西遊傳』の分析から—
- ・川添 誠             ラファエル・アルベルティの『天使たちについて』におけるスペインのシュルレアリスムの要素についての考察
- ・長尾 麻由季       トニ・モリスンの児童文学における創造的教育の可能性  
                          —『子どもたちに自由を！』と『意地悪な人たちの本』を中心に—

研究ノート

- ・芝田 思郎           スウェーデン語小辞動詞構文と二重目的語構文の関係性について
- ・矢元 貴美           フィリピン語専攻の初学者の誤用分析  
                          —動詞導入前の誤用例から—

講演記録

- ・仁田 義雄           日本語の（単）語を求めて

○外国語教育のフロンティア

『外国語教育のフロンティア』第2号(2019) 目次

# 外国語教育のフロンティア 2

## 2019年

### — 目 次 —

#### 【論文】

- 外国語教育における到達度評価制度について  
～CEFR初版2001から2018補遺版CEFR-CVまで～  
An Achievement Assessment System in Teaching of Foreign Languages:  
From CEFR 2001 to CEFR-Companion Volume 2018  
.....真嶋 潤子 1
- Dugaan Blasfemi dalam Puisi “Ibu Indonesia:”  
Analisis Linguistik Forensik  
「インドネシアの母」の詩における冒涇の疑い  
—法言語学的分析に基づいて  
..... PASTIKA, I Wayan 15
- タイ語における名詞の反復  
Reduplication of Noun Words in the Thai Language  
.....宮本 マラシー 29
- ペルシア語の品詞分類における語の柔軟性と曖昧性について  
Ambiguity and Flexibility of Persian Word Class  
..... JAHEDZADEH, Behnam 53
- On Presenting Word Class Information  
in Japanese Learners’ Bilingual Dictionaries  
二言語辞典における品詞表示の問題点  
—品詞表示の現状とその必要性について—  
..... HOSSEINI, Ayat · JAHEDZADEH, Behnam 67
- بررسی تاریخی نشانه‌های جمع در زبان فارسی  
A Historical Study of Persian Plural Markers  
..... REZAI BAGHBIDI, Hassan 83
- ÇANAKKALE İLİ AYVACIK YÖRESİ AĞIZLARINDA -mAk vā/var VE -(y)IK  
İŞARETLEYİCİLERİNİN BİLGİSELLİK ANLAMLARI  
EPISTEMIC SEMANTICS OF -mAk vā/var AND -(y)IK PREDICATE MARKERS IN THE DIALECT  
OF AYVACIK DISTRICT IN ÇANAKKALE  
..... DİRİK, Seval 95

From Grammar Mistakes to Creative Errors: Using Gianni Rodari's <i>The Grammar of Fantasy</i> to Teach Creative Writing to Japanese Learners of Italian as a Foreign Language ＜文法的誤り＞から＜創作的誤謬＞へ ——第二言語としてイタリア語を学ぶ日本人学習者向け、ジャンニ・ロダーリの『ファンタジーの文法』に 基づいた創作的作文の教授法—— .....	CARDI, Luciana 109
感情表現としての補助動詞の考察 —V-テクルを例に— A Study on Usages of Japanese Auxiliary Verbs to Express Emotions: Focusing on ‘V-tekuru’ .....	筒井 佐代 127
中国人学習者への日本語の受身文指導に関する一考察 —日本語教科書とコーパスの調査を通して— A study of Japanese passive sentences Teaching method for Chinese Learners: Through a survey of textbooks and databases .....	李 偉 143
<b>【教育実践報告】</b>	
جاپانی طلبا کو اردو زبان سکھانے کا طریقہ کار (چند تجاویز) 日本人学生を対象としたウルドゥー語教育法 .....	TAHIR, Marghoob Hussain 159
A magyar mint főszak a japán felsőoktatásban 日本の高等教育における主専攻科目としてのハンガリー語 .....	OKAMOTO, Mari 169
Syntolken lånar ut sina ögon till den som inte ser The audio descriptor lends her/his eyes to the one who cannot see .....	BERGSTRÖM, Gunnel 181
RAISING AWARENESS OF LANGUAGE TRANSFER WITH ACADEMIC ENGLISH WRITING STUDENTS AT A JAPANESE UNIVERSITY 日本の大学におけるアカデミック英文ライティング学生の言語転移の認識向上 .....	WATTS, David Alistair 191

Cross-Examining the News: Building Linguistic Competence and Critical Thinking Skills in a Japanese EFL Context Through Class Debate on Controversial Issues ニュースを問いたただす —日本の英語教育における論争的問題についてのクラス討論による言語能力と批判的思考力の構築— .....	HOFMEYR, Michael Frederick 201
L'évolution du DELF-DALF dans la région d'Osaka The evolution of DELF-DALF in the area of Osaka .....	POLET, Jean-Noël 213
Autocorrección y fluidez en el desarrollo de las destrezas orales en la clase de español para extranjeros Self-correction and fluency in development of oral skills at the class of Spanish for foreigners .....	GARCÍA NARANJO, Josefa 229
Apontamentos sobre a redação dos TCCs produzidos pelos alunos japoneses 日本人学生の卒業論文に関する覚書 .....	AKITI DEZEM, Rogério · TORII, Rena 241
<b>【教材研究】</b>	
“辩论”式中级汉语会话教材开发 ——以发挥学习者的能动性为视点 ディベート式中級中国語会話教材の開発 ——学習者の主体性を活かすアプローチ—— .....	张 恒悦 249
Dhana na Dhima ya Familia na Unasaba katika Utamaduni wa Kiswahili The Concept and Role of Family and Kinship in Swahili Culture .....	ISACK, Zainabu Kassu 259
語彙教育 —フランス小学校の語彙習得方法— Teaching French Vocabulary : Methods of improving French vocabulary in the primary school of France .....	川北 恭子 271
<b>【研究ノート】</b>	
การส่งเสริมการฟังเพื่อความเข้าใจของนักศึกษาชาวญี่ปุ่นโดยใช้กลวิธีการฟัง : กรณีศึกษารายวิชาการฟังภาษาไทย Promoting the listening comprehension of Japanese students through listening strategies: A case study of a Thai language listening course .....	BURANAPATANA, Maliwan 287

Về một số lỗi ngữ pháp tiếng Việt điển hình của sinh viên Nhật 典型的な日本人学生ベトナム語の文法的な間違い「đó」と「của」 .....	NGUYEN THI NGOC THO 301
ဆက်သွယ်ရေးလမ်းကြောင်းဖွင့် မြန်မာစကားအသုံးများ (လူမှုဘာသာဗေဒ) コミュニケーションを円滑にする為のビルマ語の表現 .....	HTET HTET 313
वर्तमान हिंदी कहानी में जाति और लिंग आधारित शोषण के रूप CASTE AND GENDER BASED EXPLOITATION IN CONTEMPORARY HINDI SHORT STORIES .....	SINGH, Ved Prakash 325
アラビア語教育における「音韻規則」の扱いについて How (not) to teach “phonological rules” in Arabic instruction .....	仲尾 周一郎 335
グラフと Cytoscape の第一歩 An Introduction to Graph Handling with Cytoscape .....	上原 順一 355
Attitudes and Benefits: Japanese Students Learning Hungarian in a Literary Workshop ハンガリー語を学ぶ日本人学習者の文学教材に対する反応と効果 .....	KOVÁCS, Renáta 365
エスペラント語の所有形にみられる規則性と不規則性 Regularity and irregularity found in the possessive form of Esperanto .....	藤原 敬介 379
<b>【その他】</b>	
Studying Arabic in Oman オマーンでアラビア語を勉強する .....	ABDELRAHMAN TAREQ SADEQ ELSHARQAWY 387
<b>【執筆者一覧】</b> .....	395